

**上級者向け**

市販品ではもう、ガマンできない!  
オリジナルの  
**FRPパーツ**  
を自分で作る!

●FRPパーツを作る前に準備するもの●

ガラスマット 硬化剤(ポリエスチル用)  
ゴム手袋 ハサミ  
PPクリヤテープ(荷造り用のポリプロピレンテープ)  
サランラップ マジック  
超強力両面テープ(スポンジ系) #80#100#240#400 布  
塗装用スプレー(缶スプレー) コンパウンド  
サフェーサー 車体色クリヤー メタリック用  
中粗 細目  
はじめに  
完成予想図を描いて  
デザインを決めよう!  
写真に描いても  
よい。

1 型紙を作る。  
マジックで  
マーキング  
する。  
サランラップ(2重)  
覆紙にマーキングした  
ラップを両面テープで貼り、ハサミでカットする。  
ヘッドランプ等、左右対称なもののは裏側にすれば替えるので型紙も1枚でOK!  
型紙完成!  
いざ!  
20ページへつなぐ

誰にも負けない!  
最強のコワザ

# アイディアが決め手 コワザ自慢の フリークから学べ!

さて次は、全国のコワザ自慢のフリークから届いたホットな写真を紹介。何をどうしたらしいのか……というビギナーならなおさら、ジックリと仲間のクルマを観察して、コワザを学んでほしい。なんていって、コワザはアイディアが重要。アイディア次第で、その世界は無限大に広がるはず。そして、ヒントを握ったらあとはチャレンジあるのみ!

## スッキリとしたヒップスタイルがグッド

### ■マークII

松岡正和さん  
22歳(愛知県尾張旭市)

コワザを多用しながらも、意外なほどスッキリとまとめられているのが特徴だ。フルエアロでバッヂリと武装したスタイリングの足りない部分をコワザで補っているといった感じ。また、ボディ同色のリヤガーニッシュを作り、テールランプの形状を変えてみせるなど、手軽なワザで大きなイメチェンに成功しているのも見逃せないポイントのひとつ。必要以上にしゃばらないコワザのバランス感覚がスッキリフォルムを作っているといえる。

■SPEC

- Ⓐトライアル ⒷCオートビースタ ⒸGT用純正 ⒹATC・ADレグノ・モード4コンビ Ⓔマルコ Ⓕボルクレーシング GTU (7×16) ⒼビレリP 7 (205/55) Ⓗアベックス ⒾFETスリーバーミニ Ⓙオレンジコーナーマーカー 自作Rガーニッシュ/デコライン/エアダクト加工 クラフトハウス Fグリル カシムラ・マフラー・カッター Ⓕエアロマジック+自作ウッドバネル

リマガーニッシュ  
①紙で試作をする。  
POINT! モールのカーブを合わせて、高さをよく使う。  
②アクリル板を貼る。  
③接着する。  
④コンパウンドで磨く。  
⑤裏に両面テープを貼る。  
⑥光が透けない様に、カッティングシートを貼る。  
⑦一休憩を出すためにモールをはむ。  
⑧テールランプに接着。完成。

エアダクト・アタッチ加工  
①車のエアダクトの位置を確認。  
②車中のシルバー漆喰の所に黒のカッティングシートを貼る。  
③紙で試作してから、アクリル板を貼る。  
④ボディに貼り付ける。コーナーマーカーを貼る。  
⑤中をくりぬく。  
⑥ドリルの穴を開ける。カッターオイルを加える。  
⑦ビス穴をあける。  
⑧アルミのネジを拧り込む。  
⑨アルミのネジを拧り込む。  
⑩裏に両面テープを貼り、アミをかける。  
⑪完成。  
⑫コンパウンドで磨く。

↑エアダクトにネットを付けてスポーティなムードにメイク。もっとスバルタんにしたいのなら、ネットを貼ったフレームにカーボンシートを貼るのもいい。

↑ボディ同色のRガーニッシュでテールランプを覆うことで、まったく違うリヤビューに変身。ちょっとしたアイディアだが、その効果は絶大だ。

↑SLBを制して日本一に躍った松浦サン作のヨーロピアン・ナンバープレート。細かいところまで本物そっくりに作られている

↑暗いところで光らせた状態。まるで字光式ナンバーのように光る。発光中でも発熱しないから触っても安心だ

↑ELのシートと直流を交流へ変換するインバーター込みの価格は19mm×80mm: ¥11,000~100mm×500mm: ¥51,000

→ 東京化工 ☎03-3452-9311  
PHOTO/ウズ・フォト

デザイン自由自在の発光するE-L

光るコワザ・テク

カッティングシートなどフィルム状のシートは、コワザを使ったドレスアップに絶対必要なアイテムのひとつ。そのフィルムが発光するとなれば、さらに応用範囲が広がるというものの。今回紹介するこのE-Lには、既セニックの開発によるもので厚さ0.5mm以下とたいへん薄く柔軟性があり、さらに簡単な配線で発光するといふ特徴モノ。そこで、本誌ではこのE-Lの使い道のひとつを昨年のS-JDを制し日本一となつたアバベニアールの松浦サンに頼んでヨーロピアン・ナンバープレートを作つてもらった。写真を見てもわかるように、バーフレートだけだと、昼間はなんどんない。しかし、夜になるとこのように光るといふアイディア次第でいろいろな使い方をして楽しむことができるのです。このほかにも、文ナ字シネバベニア等があるのは、もちろんのこと。このように、文ナ字シネバベニア等があるのは、もちろんのこと。

1